

目次



1. 私たちのゴール...P.20

2. 実施概要...P.21

3. スケジュール...P.22

4. イントロダクション、ゴールの確認...P.23

5. 講義...P.24

6. ディスカッション...P.25

7. アンケート...P.27

8. 視察先について...P.29

私たちのゴール



最終ゴール

文化芸術をきっかけに、誰一人取り残さない社会をつくる。他の団体や他者と積極的につながり、つなげる役割「=市民アートコーディネーター」を担う



今年度のゴール

市民アートコーディネーターとして必要なスキルや関係性の築き方を学び、文化芸術×他分野の取組みを知ることで他者や他団体とつながるアイデアを考える



第2回のゴール

ヒアリング手法を得る

実施概要



1. 日時

令和7年8月2日（土） 13:00～15:30（12:50開場）

2. 場所

おにクル7階 会議室1

3. 参加者

参加者計18名

出席12名（内1名早退） 欠席6名

4. 運営

講師：One Art Project 稲垣様 藤本様

企画運営：茨木市、SPS

オブザーバー1名：茨木市文化振興財団

スケジュール



時間	項目	詳細	進行
12:00	会場準備	会議設営	
12:30	打ち合わせ	OneArt Project様、茨木市、SPSで打ち合わせ	
12:50	開場		
13:00	イントロ	導入、第1回振り返りシート記入 (前回～今回までにやったこと)	SPS
13:10	ゴールの確認	茨木市の目指す文化的コモنزの説明 市民アートコーディネーターの役割	茨木市
13:25	講義	One Art Project様の講義	One Art Project様
14:05	質疑応答		以下SPS
14:15	休憩		
14:25	グループ ディスカッション	ヒント1: 「相手の『物語』を聴く」 ①この分野に興味を持った理由は? ヒント2: 「仮説を立ててみる」 ②視察先の検討、分野の課題を考える	
15:05	全体共有	・視察先候補と感想 ・One Art Project様より全体総括	
15:15	視察の連絡	視察先の決定連絡方法、Slackの説明	
15:25	クロージング	まとめ、次回の確認、アンケート	全員
15:30	終了&片付け		全員

イントロダクション (SPS)



1. 発表者

SPS 筑後

2. 内容

- ・各分野のグループ分け共有
前回アンケートで希望者が多かった福祉、教育、環境、多文化共生で、事前に希望を募りグループを分けた。
- ・前回～今回までにやったことを振り返りシートに記入

最終ゴールの確認 (茨木市)

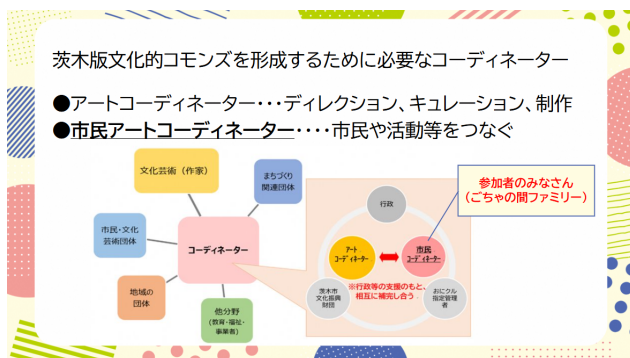
1. 発表者

茨木市文化振興課 秋本

2. 内容

以下の内容を共有

- ・茨木版文化的コモンズ形成に向けた市民アートコーディネーターの立ち位置
- ・市民アートコーディネーターとして実践してもらいたい役割
- ・具体的な行動イメージ



講義（One Art Project様）



1. 講師

One Art Project 稲垣様 藤本様

2. テーマ

プロジェクトの中で、どのように他分野との関わり、活動を行っているか

3. 講義内容

- ・プロジェクトの紹介
SOU、realSOU、CACOIBA、茨木映像芸術祭、maruなど
- ・プロジェクトの準備から完成までの流れ
人を集める仕組み、空き店舗の再利用など
- ・プロジェクトを実施する上で、マインド面で大事にしている点
芸術の主導権が見る人（個人の主観）にあること
内側から生まれる疑問、あるいは固定概念を覆しプロジェクト化する
作品のことを理解、尊重している立場で他分野と関わるため、
文化芸術を軸に考え接するようにしている。など

4. 参加者からの質疑

- ・なぜこのような活動をしようと思ったのか、経緯を知りたい。
- ・「文化芸術という軸がブレないように気をつけている、自分たちの役目がなくなってしまう」という発言について、そのように思うきっかけがあれば伺いたい。
- ・今日の話をもとに二人でできるような業務量とは思えない。二人でやっているメリットや理由を伺いたい。



ディスカッション①



1. テーマ①

「この分野に興味を持ったきっかけは？」
各自が希望として選んだ理由や背景を話し合う。

2. 各グループの意見

【福祉】

- ・医療関係の仕事をしていて医療と福祉の違いに興味がある。福祉は日常生活の一部であり、本人のやりたいことを実現できるように支援するイメージがあり、もっと知りたい。
- ・自分から一番遠い分野なので選んだ。

【教育】

- ・子ども向けに仕掛け絵本・科学系の製作ワークショップをしているので次世代に継承したい。
- ・自宅を活用して、落語会・和菓子作り体験・そば農業＋そば打ち体験などを企画実施している。伝統文化を継承したい。
- ・一番身近ではないので選んだ。

【環境】

- ・再生可能についてを今一度考えてみたい。
- ・京都芸術センターでのボランティアで、ごみから生まれた金魚の餌などを知って興味を持った。
- ・自然に恵まれた環境に住んでいるが、あまり普段環境問題に触れることはないのを知りたい。

【多文化共生】

- ・自分以外すべてが異文化だと思う。
- ・異文化のコミュニティで面白い人、イキイキしている人がたくさんいる。
- ・海外で刺激を受けた、対話の重要性に気づいた。

ディスカッション②



1. テーマ②

「仮説を立ててみる」

視察先の検討と、各分野の課題を考える。

2. 各グループの意見など

【福祉】

- ・ アートの面、福祉の面、双方向からの価値や、現代アートと福祉のつながりを知ることができるのではないかな。
- ・ LanTrk いばらき（福祉啓発ユニット）がハートフルで作品展示をやっていたという話をお聞きしたので、その話についても聞いてみたい。

【教育】

- ・ 子どもの教育よりも親の教育が大事なのではないかな。
- ・ 親がわかっていない、認識が低いことも多いのではないかな。
- ・ 親子で参加してもらうことで、親の方が気づきがある。
- ・ 文化芸術をきっかけに、親子間のコミュニケーション促進にもなる。
- ・ 自宅で落語会を主催している参加者がいるので、行ってみたい。

【環境】

- ・ 茨木市の焼却炉は本当に何でも燃やせるのか。
- ・ 食品売れ残りの処理の仕方はどのようにしているのか。
- ・ フードロス対策や燃やす量そのものを減らすことも考える必要がある。
- ・ 燃やした熱の再利用はどうなっているのか、発電に変えるなど燃やしたエネルギーを活用できないか。

【多文化共生】

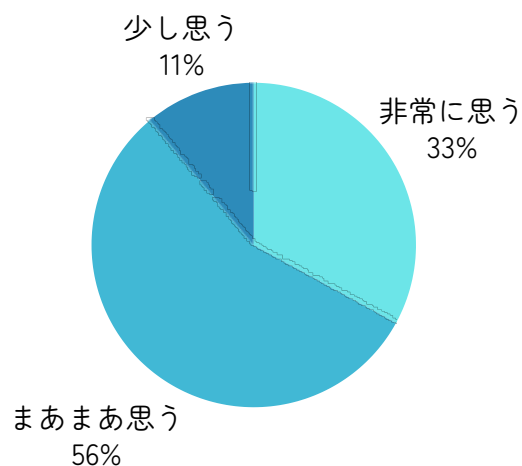
- ・ ヒアリング時には、相手を尊重することを大切にしたい。
- ・ 決めつけず、フラットな感情で相手と話をしたい。
- ・ 普段の生活の中でイスラム教の方と接することがないので、どのような生活をしているのか知りたい。

アンケート（9名）



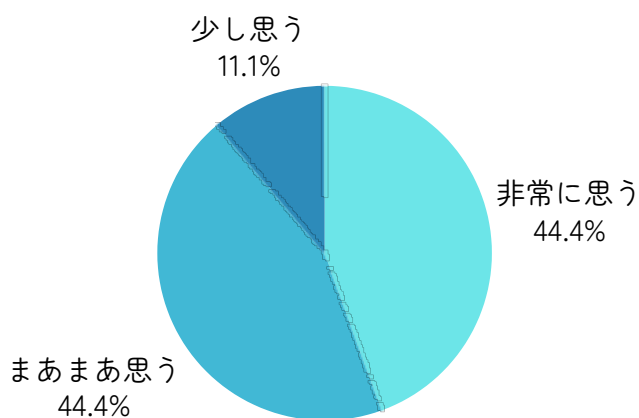
1. 文化芸術活動に対して、以前より「関わりたい」と思う気持ちが高まりましたか？

- 非常に思う...3名
- まあまあ思う...5名
- 少し思う...1名
- 特に変わらない...0名



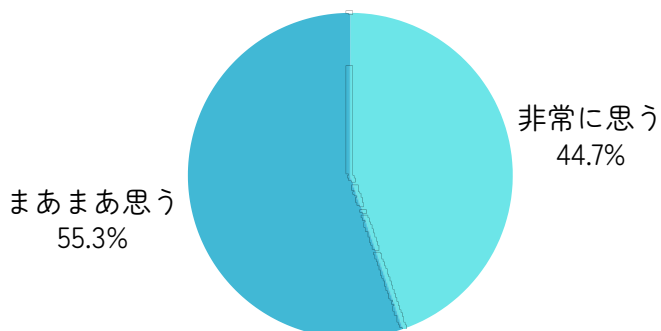
2. 地域社会に貢献したいという気持ちは高まりましたか？

- 非常に思う...4名
- まあまあ思う...4名
- 少し思う...1名
- 特に変わらない...0名



3. 今回の活動を通して、新しい出会いやつながりを感じましたか？

- 非常に思う...4名
- まあまあ思う...5名
- 少し思う...0名
- 特に変わらない...0名

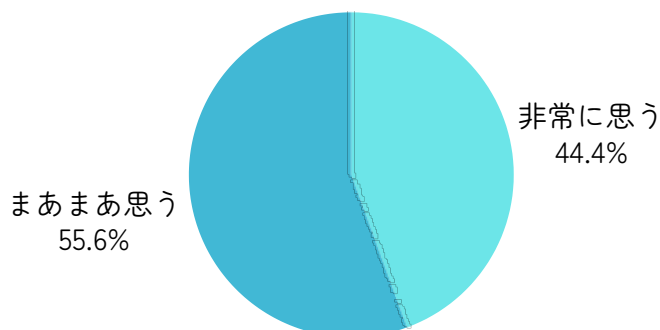


アンケート（9名）



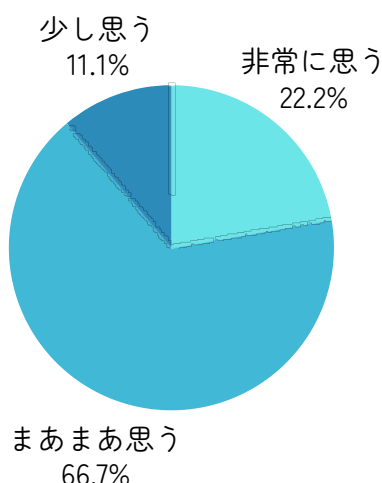
4. 新しいことへの好奇心や、アイデアを得ることができましたか？

- 非常に思う...4名
- まあまあ思う...5名
- 少し思う...0名
- 特に変わらない...0名



5. この活動について、家族や友人など周りの人に紹介したいと思いますか？

- 非常に思う...2名
- まあまあ思う...6名
- 少し思う...1名
- 特に変わらない...0名



6. 印象に残ったキーワード、感じたこと・運営に関するご要望などがあれば自由にご記入ください。（一部抜粋）

- 色々な世代の方にお会いできて有意義な時間にできた。
- 相手はこうだときめつけなくて話してみる。
- 各分野に分かれての初めてのミーティングでした。今回も個性的な方が多くて楽しみです。
- 「これっておかしい」という疑問が活動の土台になっている、という言葉が印象に残りました。
- 実績に裏打ちされたプロのアートコーディネーターとしての矜持を感じました。「ハードとソフト」のソフト部分は、理念を言語化して共有しつつ、行動し続けることが大切ですね。
- OneArtさんの気持ちや活動がよく伝わってきた。